

進路だより

浜田水産高校

第8号 H30.11.28

進路指導部

今年の就職試験から

昨年あたりから、就職試験に学力試験を行わない企業が増えました。現在は深刻な人手不足なので、受験者に敬遠されたくないという企業側の心理が働いていると思われます。今年はさらにこの傾向が強くなったと感じました。生徒の皆さんは学力試験がないことを良いことだと捉える人が多いと思いますが、面接試験で合否が決定されるので、面接試験の重要性が増してきたのは確かです。入学試験でも面接試験が行われるのが普通なので、1・2年生はこれからしっかり準備をして欲しいと思います。

『自己PRをして下さい。』

就職試験・入学試験にかかわらず、面接試験で必ず受ける質問です。受験者はこの質問があることを百も承知で試験に臨んでくるので、学校で指導を受け、十分練習を積んでくると試験を行う側は考えています。従って上手く答えられて当たり前、そうでなければとても低い評価となってしまいます。ぜひ時間をかけて自分なりの答えを用意して欲しいと思います。

自己PRをするためには、自分の長所と短所に気付いておく必要がありますが、自分の良いところを自分で見つけるのは意外と難しいものです。人の長所については、本人より周りの人が気づいている場合があるので、家族、友人、学校の先生などに聞いてみるのはいかがでしょうか。そして自分の長所を見つけたことができれば、次はその長所を入社後、あるいは入学後こんな場面で役立てることができると、主張できるようにしましょう。ここまで来れば自己PRは完璧です。



3年生学年別活動「模擬面接練習」

その他よく聞かれた質問

○『部活動で頑張り、得たものは何ですか』

部活動へ熱心に取り組んでいる人は現在の経験を話せば良いので難しくありませんが、そうでない人は困ってしまいます。「部活動には入っていませんでした。」と答えると、次はその理由について聞かれます。あらかじめ答えを用意しておく必要がありますね。

○『なぜ水産高校へ入学したのですか』

県外の企業・学校を受験すると質問されることがよくあります。水産高校という珍しい(?)学校へ入学した理由を聞いてみたくようになります。なぜ自分が浜田水産高校へ入学したのか、振り返ってみる必要があるようです。

○『最近関心を持ったニュースは何ですか。』

学校の勉強だけでなく、社会情勢に関心があるかどうかを見る質問です。答えの内容で受験者が関心を持つ事柄や、考え方を知ろうとするものです。

その他、科によって質問される内容が異なる場合があります。海洋技術科の生徒は神海丸の乗船実習についてよく質問されます。また、食品流通科の生徒は、実習製品や食品技能検定Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類の違い、HACCPについて質問されることがあります。もちろん水産の素人にもわかるように説明できなければいけません。

以上今年の面接試験でよく聞かれた質問を揚げてみました。1・2年生の皆さん上手く答えられそうですか。できれば3年生にどう答えたか聞いてみて下さい。参考になるとと思います。

石見を盛り上げよう！4者フォーラムの報告

26日の夜に上記のフォーラムがありました。4者とは、企業・行政・保護者・教職員のことで、これらの代表が集まり、若者の地元定住について考えようというものです。本校からもPTA役員2名と、教職員3名が参加しました。人口減がつづく浜田では、若者の地元定住は重要な課題となっていますが、良い解決策はなかなか見つからないようです。その中で多くの卒業生を地元に残している本校は注目される存在で、このフォーラムで行った本校の事例発表も出席者の関心を引くものだったようです。生徒にとって地元就職が必ずしもベストでない場合があるかも知れませんが、地域の期待に応える必要性を感じたフォーラムでした。